

計画の名称	山形福島新潟の四季の魅力溢れる資源を活かした広域観光活性化計画(重点)											
計画の期間	令和04年度 ~ 令和08年度(5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	山形県											
計画の目標	<p>山形・福島・新潟の3県は古くから歴史的、文化的な強いつながりがあり、また地域の特徴を生かした全国に誇れる豊富な観光資源と、高速道路や新幹線、在来線等の広域交通ネットワークを有していることから、三県知事会等において、3県それぞれの地域振興を図るため連携、協調を図ってきた。</p> <p>本計画では、東北圏広域地方計画の広域連携プロジェクトである『「四季の魅力溢れる東北」を体験できる滞在型観光圏の創設プロジェクト』に基づき、「歴史」や「伝統文化」、「温泉」等、「日本のふるさと・原風景」を象徴する観光資源を地域一体となって発掘・磨き上げ、ゆっくり、のんびりと東北圏の魅力体験し、より長く滞在が可能な観光圏を創出するとともに、東北圏へのアクセス機能の強化など観光客が旅行しやすい環境づくりを進めることで、広域対流圏として更なる発展を目指す。</p>											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,079	A	1,079	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R元年	中間目標値 R6末	最終目標値 R8末
1	<p>【山形県・福島県・新潟県 共通目標】 観光入込客数4,281万人(R1)から4,421万人(R8)に増加(140万人(3.3%)の増加)</p> <p>【山形県・福島県・新潟県 共通目標】 山形県・福島県・新潟県の対象地域における観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の年間観光入込客数 - R1の年間観光入込客数) / (R8の年間観光入込客数)</p>	4281万人	万人	4421万人
2	<p>【山形県 単独目標】 山形県の対象地域における観光入込客数を756万人(R1)から764万人(R8)に増加させる。(8万人(1%)の増加)</p> <p>【山形県 単独目標】 山形県の対象地域における観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の年間観光入込客数 - R1の年間観光入込客数) / (R8の年間観光入込客数)</p>	756万人	万人	764万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	公園	一般	山形県	直接	山形県	都市公園	施設整備	弓張平公園	オートキャンプ場改築、休養施設設置、体育館改築、トイレ改築等一式	西川町						100	-	
	事業費が5億円以下のため、費用便益比算出対象外																		
	A11-002	公園	一般	山形県	直接	山形県	都市公園	施設整備	山形県総合運動公園	体育館改築、陸上競技場改築、プール改築、トイレ改築等一式	天童市						293	-	
	事業費が5億円以下のため、費用便益比算出対象外																		
	A11-003	公園	一般	山形県	直接	山形県	都市公園	施設整備	最上川ふるさと総合公園	照明設備更新、休養施設改築、管理施設改築、運動施設改築等一式	寒河江市						226	-	
事業費が5億円以下のため、費用便益比算出対象外																			
A11-004	公園	一般	山形県	直接	山形県	都市公園	施設整備	中山公園	野球場改築、照明設備更新、園路改築、トイレ改築、空調設備設置、駐車場整備等一式	中山町						410	-		
事業費が5億円以下のため、費用便益比算出対象外																			
A11-005	河川	一般	山形県	直接	山形県	一級	環境	(一)最上小国川	河川環境整備 2.7ha	最上町						50	-		
整備内容が緑地環境事業に類するため。																			
										小計						1,079			

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						1,079		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R4	R5	R6	R7		
配分額 (a)	30	90	53	23		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	30	90	53	23		
前年度からの繰越額 (d)	0	6	31	25		
支払済額 (e)	24	65	59	35		
翌年度繰越額 (f)	6	31	25	13		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-		

案件番号 : 0000443487

(参考様式) 参考図面 (社会資本総合整備計画 広域連携事業)



事前評価チェックシート

計画の名称： 山形福島新潟の四季の魅力溢れる資源を活かした広域観光活性化計画（重点 ）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

(確認様式1)

交付限度額算定表

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	486 百万円	規則第17条第1項に基づく交付限度額(Y)	43,644 百万円	$X \leq Y$ ゆえ、	本計画における交付限度額	485.6 百万円
					交付率	45.0 %
					提案事業比率	0.0 %

規則第17条第1項に基づく限度額算定

S 1,661.1 km²

拠点施設を中心とする半径Rの円の面積(πR^2)

π : 3.14

r: 最短距離 23

拠点施設から都道府県の境界までの距離 23.00 km

拠点施設から海岸線までの距離 66 km

r₀: 10 km

R: $r \geq r_0$ ゆえ、 23 km

T 5年

当該広域的な地域活性化基盤整備計画の計画期間

令和4年度 ~ 令和8年度

C 1,051 万円/km²・年度

単位面積あたり及び単年度あたりの標準的な投資額

行政投資全国実績のうち、都道府県が主体となる交付対象事業に係るものを全国平均で除したものの(最新5箇年の平均)

S × C × T × 0.5 = 43,644 百万円

要綱第5に掲げる式による限度額算定

交付対象事業費	拠点施設関連基盤 施設整備事業(A)	1,079 百万円
	提案事業(B)	0 百万円
	合計	1,079 百万円

$\alpha 1 = 9(A+B) / 10 =$	971
$\alpha 2 = 12A / 11 =$	1,177
$\alpha 1 < \alpha 2$ ゆえ、交付限度額(X): $\alpha / 2 =$	485.55 百万円

(確認様式1-1)

rの選定根拠(複数の拠点施設が記載されている場合)

※ 計画に記載された拠点施設から都道府県の境界若しくは海岸線までの最短距離
(複数の拠点施設が記載されている場合は、そのうち最も大きい値)

<選定方法>

- ① 各拠点施設から都道府県の境界までの距離:r1、海岸線までの距離:r2を記入
(〇〇群とした場合は群の中心付近からの距離とする)
- ② 最短距離欄に、r1、r2のうち短い距離を記入
- ③ 最短距離のうち、最も大きい値となる拠点施設からのr1、r2を交付限度額算定表に記載する値として選定

(単位:km)

拠点施設名	①		②
	拠点施設から 都道府県の境界 までの距離:r1	拠点施設から 海岸線までの 距離:r2	最短距離 (r1、r2のうち 短い距離)
月山湖カヌースプリント競技場	18	40	18
クアパーク	23	66	23
天童温泉	12	76	12
ひまわり温泉観光施設群	19	63	19
「おくのほそ道」赤倉キャンプ場(仮称)	4	80	4

※ 選定結果(交付限度額算定表に記載する値)

(単位:km)

拠点施設名	③	
	拠点施設から 都道府県の境界 までの距離:r1	拠点施設から 海岸線までの 距離:r2
クアパーク	23	66

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	月山湖カヌースプリント競技場	所在地	山形県西村山郡西川町月山沢地内
設置主体	西川町	管理・運営主体	西川町
拠点施設の区分	法第2条第2項第1号	広域的特定活動の区分	法第2条第1項第1号イ
拠点施設データ	競技者数： 約7千人（内県内： 千人 県外： 千人）		
拠点施設の整備の有無	有	整備期間	令和4年度～令和7年度
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 当該施設は、令和2年度に東日本初の常設1,000mコースが整備され、東京2020オリンピックの事前合宿として、西川町のホストタウンであるモルドバ共和国のカヌースプリントチームや日本代表チームなどが利用した「スポーツ施設」である。拠点施設整備として、今後、利用環境向上のためカヌーの艇庫としての機能と休憩施設機能を持たせた多目的施設の整備が行われることから、今後、これまで以上に大規模な大会や合宿等が開催されることが期待され、周辺の観光地を含めて交流人口の拡大が期待されている。			
＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 基幹事業を実施する弓張平公園(A11-001)は、拠点施設である月山湖カヌースプリント競技場に近接し、体育館等の運動施設が充実している公園である。カヌースプリント競技場利用者は湖面での漕艇トレーニングのみならず、基礎トレーニングや心肺トレーニングのため、公園内の運動施設や起伏差の大きい園内通路をランニング等に活用しており、公園がカヌースプリント競技場と一体的にトレーニングの場として活用されている。拠点施設整備事業に併せて計画している公園の運動施設等の整備は、拠点施設であるカヌースプリント競技場の利用者数の更なる増加にも繋がるものである。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
拠点施設では、施設の整備等を契機にR4年度に「全国的な規模のスポーツの競技会」として関東学生カヌースプリント選手権が開催予定であるなど、公園を含む重点地区内の充実したトレーニング環境により、その後も全国規模の大会等の開催やトレーニングを目的とした多くの競技者の来訪が見込まれる。また、一般観光客向けにカヌー体験ツアーなどを企画することで、更なる観光客の拡大を図る。			
＜該当する広域連携プロジェクト＞ 【「四季の魅力あふれる東北」を体験できる滞在型交流型観光圏の形成】 観光産業の振興のため、観光地相互の連携により、農林業・漁業体験等のグリーンツーリズムやエコツーリズム、国立公園等での自然体験、豊富な温泉資源を活用した湯治、地場産食材を活用した地元名物料理体験、雪を活かした地吹雪体験・かまくら体験等、多種多様な体験型観光メニュー等を組み合わせた観光圏の形成をより一層推進する。 また、平泉の世界遺産登録5周年を契機とした新たなツアーの創出を検討し、あわせて津波の恐ろしさを学ぶとともに地域の復興の歩みを実感してもらうような周遊・滞在型のツアー等、被災地における復興支援と連動したツアーや震災や防災についての学習・研修を目的とする旅行を推進する。 さらに、台湾、香港、中国(上海・広州)、ASEAN(東南アジア諸国連合)、欧米、オーストラリアの旅行者をターゲットに、首都圏並びに平成28年3月26日に開業した北海道新幹線の道南地域、東北の空港への直行便等を活用した旅行者を対象とした、広域観光周遊ルート「日本の奥の院・東北探訪ルート」形成促進事業を推進する。			

(確認様式2-1)

重点地区に関する事項

月山湖カヌースプリント競技場地区(山形県)	所在地	山形県西村山郡西川町	重点地区の面積	約88ha
-----------------------	-----	------------	---------	-------



(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	天童温泉	所在地	山形県天童市貫津～鎌田一丁目地内
設置主体	天童市、各温泉施設設置者	管理・運営主体	天童市、各温泉施設設置者
拠点施設の区分	法第2条第2項第2号	広域的特定活動の区分	法第2条第1項第1号口(1)
拠点施設データ	観光客数：年間 1227千人 (内県内：429千人 県外：798千人)		
拠点施設の整備の有無	有	整備期間	令和3年度～令和4年度
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 当該施設は、県内有数の温泉旅館や多目的施設「わくわくランド」、「道の駅天童」及び天童公園等で構成される「一団地の観光施設」であり、年間約123万人が訪れる。天童公園では、「天童桜まつり人間将棋」や四季を通じて各種イベントが開催されており、賑わいの拡大とおもてなしの場の提供に努めている。天童温泉では、朝摘みサクランボツアーや朝摘み紅花体験等、地域住民と一体となった観光コンテンツの造成を行っている。また、行政、温泉組合、観光協会が連携して、天童温泉やその周辺の自然を利用した健康ウォーキングを実施している。拠点施設整備として、高齢者や障がい者・外国人等が快適に利用できるユニバーサルデザインの客室改装や施設の一部を個室露天風呂に改装するなど、利用環境の向上を行っている。			
＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 基幹事業を実施する山形県総合運動公園(A11-002)は、拠点施設である天童温泉に国道13号を通じて直結し、交通の利便性が高く、多種多様なスポーツ施設や気軽に楽しめるレクリエーション施設の機能を備えているほか、プロスポーツのホームスタジアム及びホームアリーナとして年間を通じたリーグ公式戦で賑わっている。また、公園のイチヨウ並木は紅葉の名所にもなっており、これらを目的に公園に訪れる観光客が天童温泉を利用することとなる。さらに、本公園は、天童温泉協同組合が共催している天童ラフランスマラソンの会場に活用されるなど拠点施設と一体となった取組も行われている。この地域資源を活用するため、天童温泉では山形県総合運動公園間の「DMC天童温泉」によるシャトルバス運行や、温泉街にはプロスポーツを盛り上げるフラッグを掲げるなど、地元及び温泉旅館等が一体となって、来訪客のプロスポーツの観戦や、公園内施設でのスポーツ実践に向けた誘導を図っており、公園施設の整備による利用環境の向上は、拠点施設の更なる魅力向上にも繋がる。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
R3年5月には天童温泉協同組合が開湯110周年のシンボルとして10号源泉、温泉やぐらが制作され新たな観光スポットとなっているほか、天童市がR4年度に外国人観光客向けに観光情報センターにおいて音声ガイドを整備する予定であるなど「観光旅客に対する観光案内」の環境を整備している。また、「DMC天童温泉」が地元のネットワークを活用した工場や機械など産業文化財や産業製品を通じものづくりの心に触れる産業観光等さまざまな地域資源を活用したローカルツアーなど「観光旅客に対する宿泊その他の役務の提供に関する事業活動」を企画し、更なる観光客の拡大を図る。			
＜該当する広域連携プロジェクト＞ 【「四季の魅力あふれる東北」を体験できる滞在型交流型観光圏の形成】 観光産業の振興のため、観光地相互の連携により、農林業・漁業体験等のグリーンツーリズムやエコツーリズム、国立公園等での自然体験、豊富な温泉資源を活用した湯治、地場産食材を活用した地元名物料理体験、雪を活かした地吹雪体験・かまくら体験等、多種多様な体験型観光メニュー等を組み合わせた観光圏の形成をより一層推進する。 また、平泉の世界遺産登録5周年を契機とした新たなツアーの創出を検討し、あわせて津波の恐ろしさを学ぶとともに地域の復興の歩みを実感してもらうような周遊・滞在型のツアー等、被災地における復興支援と連動したツアーや震災や防災についての学習・研修を目的とする旅行を推進する。 さらに、台湾、香港、中国(上海・広州)、ASEAN(東南アジア諸国連合)、欧米、オーストラリアの旅行者をターゲットに、首都圏並びに平成28年3月26日に開業した北海道新幹線の道南地域、東北の空港への直行便等を活用した旅行者を対象とした、広域観光周遊ルート「日本の奥の院・東北探訪ルート」形成促進事業を推進する。			

(確認様式2-1)

重点地区に関する事項

天童温泉地区(山形県)	所在地	山形県天童市	重点地区の面積	約63ha
-------------	-----	--------	---------	-------

重点地区:天童温泉地区

拠点施設:天童温泉

施設の概要

位置:山形県天童市

主要な施設

温泉旅館、わくわくランド、道の駅天童温泉、天童公園

拠点施設関連基盤施設整備事業

施設の概要

施設名:山形県総合運動公園(種別:広域公園)

位置:山形県天童市

基幹事業:A11-002 山形県総合運動公園施設改築事業

内容:体育館改築、陸上競技場施設改築、プール改築、

凡例



拠点施設関連基盤施設



重点地区



拠点施設



(確認様式2)

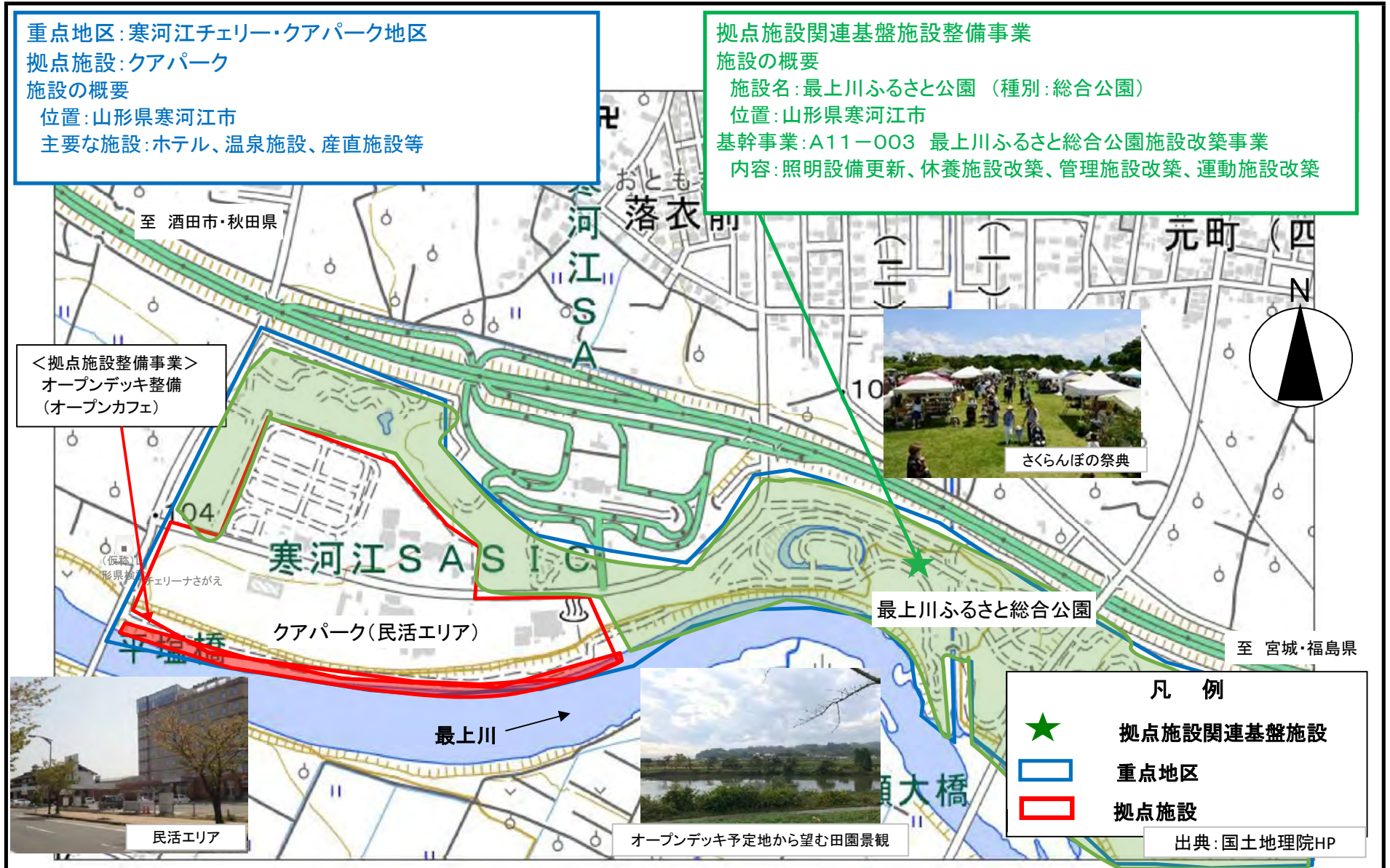
拠点施設に関する事項

施設名	クアパーク	所在地	山形県寒河江市寒河江 地内
設置主体	民活エリア開発推進連絡会	管理・運営主体	各施設所有者
拠点施設の区分	法第2条第2項第2号	広域的特定活動の区分	法第2条第1項第1号口(1)
拠点施設データ	観光客数： 約817 千人 (内県内： 約599 千人 県外： 約218 千人)		
拠点施設の整備の有無	有	整備期間	令和4年度～令和7年度
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 当該施設は、「寒河江ハイウェイオアシス」内の民活エリア開発連絡協議会が包括しているエリアとして、ホテルをはじめ、日帰り温泉や土産物産直売施設等で構成される「一団地の観光施設」として、年間約82万人が訪れる。また、山形自動車道の寒河江スマートICに直結しており、県内外からのアクセス機能も充実している。拠点施設整備として、最上川越しに開けた良好な田園景観を眺望できるオープンデッキの整備によりオープンカフェとしての利用が計画されており、賑わいのある水辺空間を整備し観光人口の増加を図る。			
＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 基幹事業を実施する最上川ふるさと総合公園(A11-003)は拠点施設であるクアパークに隣接し、「やまがた雪フェスティバル」や「サクランボの祭典」等、多くの観光イベント会場となっており、また「やまがた景観物語～おすすめビューポイント60～」にも選定されている。拠点施設の利用者の中には、観光イベントの訪問者や、公園内の運動施設の利用を目的としている者も多く、公園施設の整備による利用環境の向上は、拠点施設の魅力向上にも繋がる。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
寒河江市や拠点施設の民間事業者は、R4年から拠点施設全体において音楽に合わせて色彩が変化する光と音のイルミネーションショーや地元食材を使ったテークアウトグルメの販売、温泉施設とのタイアップイベントを実施する「音と光のファンタジア」などの「観光旅客に対する観光案内、宿泊その他の役務の提供に関する事業」を行うことで、更なる観光客の拡大を図る。			
＜該当する広域連携プロジェクト＞ 【「四季の魅力あふれる東北」を体験できる滞在型交流型観光圏の形成】 観光産業の振興のため、観光地相互の連携により、農林業・漁業体験等のグリーンツーリズムやエコツーリズム、国立公園等での自然体験、豊富な温泉資源を活用した湯治、地場産食材を活用した地元名物料理体験、雪を活かした地吹雪体験・かまくら体験等、多種多様な体験型観光メニュー等を組み合わせた観光圏の形成をより一層推進する。 また、平泉の世界遺産登録5周年を契機とした新たなツアーの創出を検討し、あわせて津波の恐ろしさを学ぶとともに地域の復興の歩みを実感してもらうような周遊・滞在型のツアー等、被災地における復興支援と連動したツアーや震災や防災についての学習・研修を目的とする旅行を推進する。 さらに、台湾、香港、中国(上海・広州)、ASEAN(東南アジア諸国連合)、欧米、オーストラリアの旅行者をターゲットに、首都圏並びに平成28年3月26日に開業した北海道新幹線の道南地域、東北の空港への直行便等を活用した旅行者を対象とした、広域観光周遊ルート「日本の奥の院・東北探訪ルート」形成促進事業を推進する。			

(確認様式2-1)

重点地区に関する事項

寒河江チェリー・クアパーク地区(山形県)	所在地	山形県寒河江市	重点地区の面積	約36ha
----------------------	-----	---------	---------	-------



(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	ひまわり温泉観光施設群	所在地	山形県東村山郡中山町いずみ地内
設置主体	中山町	管理・運営主体	指定管理者: (株)中山町振興公社
拠点施設の区分	法第2条第2項第2号	広域的特定活動の区分	法第2条第1項第1号口(1)
拠点施設データ	観光客数 : 約251 千人 (内県内: 約236 千人 県外: 約15 千人)		
拠点施設の整備の有無	有	整備期間	令和4年度～令和8年度
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 当該施設は、平成5年に設置された県内外の利用者が訪れる温泉施設「ゆ・ら・ら」、平成21年に併設された情報発信施設「まるっと」、最上川中山緑地等で構成される「一団地の観光施設」であり、年間約25万人が訪れる。ひまわり温泉では、昭和62年から始まった「全国かぶと虫相撲大会」が毎年恒例のイベントとして定着しているほか、利用者の増加に向け露天風呂の改築を行ったり、「ゆらら寄席」や「オクトーバーフェスト」などのイベントを開催している。また、最上川中山緑地ではテニスコートやバスケットボールコートその他、ピクニック広場が設置され、幅広い客層に利用されている。また近年は、新型コロナウイルスを意識したキャンプ利用者が増加しており、キャンプ広場の基盤整備や親水空間整備を行うことで、更なる利用者の増加が見込まれている。			
＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 基幹事業を実施する中山公園(A11-004)は、拠点施設であるひまわり温泉に近接しており、プロ野球1軍公式戦が開催される野球場の外、多彩な遊具を備えた芝生広場、四阿等の寛ぎの場が整備されている。 公園の野球場では、毎年、拠点施設であるひまわり温泉に宿泊する強豪の日本体育大学女子ソフトボール部による強化合宿が行われており、その際、拠点施設を訪れる中・高校生等も対象に含め、ソフトボールクリニックが開催されている。また、遊具のある芝生広場は、最上川中山緑地等の拠点施設を訪れる親子連れにも利用されており、拠点施設整備に併せ基幹事業である公園の施設整備を行うことで、拠点施設及び公園の利用環境が向上、惹いては両施設の利用者の増加に繋がるものである。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容 R3年に拠点施設内の足湯スペースのリニューアルが実施されるほか、R3～4年に物産館にレトルト食品加工施設を導入し、土産品等の開発・製造を行うこととしている。拠点施設内の最上川中山緑地においては、新たにキャンプ場の拡張整備を行う予定としており、更に多くの利用者がキャンプ場を利用する事が出来るようになる。併せて、令和3年度に新たに実施している初心者向けのテント設営講習会などのアウトドアイベントを実施するなど「観光旅客に対する観光案内、宿泊その他の役務の提供に関する事業活動」を行い、更なる観光客の増加を図る。			
＜該当する広域連携プロジェクト＞ 【「四季の魅力あふれる東北」を体験できる滞在型交流型観光圏の形成】 観光産業の振興のため、観光地相互の連携により、農林業・漁業体験等のグリーンツーリズムやエコツーリズム、国立公園等での自然体験、豊富な温泉資源を活用した湯治、地場産食材を活用した地元名物料理体験、雪を活かした地吹雪体験・かまくら体験等、多種多様な体験型観光メニュー等を組み合わせた観光圏の形成をより一層推進する。 また、平泉の世界遺産登録5周年を契機とした新たなツアーの創出を検討し、あわせて津波の恐ろしさを学ぶとともに地域の復興の歩みを実感してもらうような周遊・滞在型のツアー等、被災地における復興支援と連動したツアーや震災や防災についての学習・研修を目的とする旅行を推進する。 さらに、台湾、香港、中国(上海・広州)、ASEAN(東南アジア諸国連合)、欧米、オーストラリアの旅行者をターゲットに、首都圏並びに平成28年3月26日に開業した北海道新幹線の道南地域、東北の空港への直行便等を活用した旅行者を対象とした、広域観光周遊ルート「日本の奥の院・東北探訪ルート」形成促進事業を推進する。			

(確認様式2-1)

重点地区に関する事項

中山スポーツ・レクリエーション地区(山形県)	所在地	山形県東村山郡中山町	重点地区の面積	約46ha
------------------------	-----	------------	---------	-------

拠点施設関連基盤施設整備事業

施設の概要

施設名:中山公園 (種別:運動公園)

位置:山形県東村山郡中山町

基幹事業:A11-004 中山公園施設改築事業

内容:野球場躯体改修、野球場照明設備更新、トイレの洋式化、空調設備設置、駐車場整備等

重点地区:中山スポーツ・レクリエーション地区

拠点施設:ひまわり温泉観光施設群

施設の概要

位置:山形県東村山郡中山町

主要な施設

日帰り温泉施設、休憩施設、研修室、合宿施設、レストラン、最上川中山緑地



(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	おくのほそ道赤倉キャンプ場(仮称)	所在地	最上町富澤地内
設置主体	民間事業者	管理・運営主体	最上町・民間事業者
拠点施設の区分	省令第3条第2号	広域的特定活動の区分	省令第1条第2号
拠点施設データ	観光客数：年間 1.2 千人 (内県内： 0.6 千人 県外： 0.6 千人) (見込み)		
拠点施設の整備の有無	有	整備期間	R4～R6
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
〈概要及び整備計画〉 ”「おくのほそ道」赤倉キャンプ場(仮称)”は、最上小国川流水型ダムの左岸に令和6年度の供用開始を目指し新設される「体験学習施設」である。当該拠点施設では、キャンプや県内有数の釣りスポットとしてアユ釣りが楽しめるなど自然体験ができるとともに、地元NPO等と連携しアユをはじめとする最上小国川流域の生態系を学ぶ学習会等のイベント開催も予定している。			
〈拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性〉 「おくのほそ道」赤倉キャンプ場(仮称)に隣接する最上小国川流水型ダムは、全国で5例目、東北では唯一の流水型ダムであり、これまでも観光客が多数訪れている。今後、キャンプ場利用者を対象とした「最上小国川流水型ダム見学ツアー」の開催が予定されており、基幹事業である展望広場や桜並木等の整備と一体となった整備により、最上小国川沿川での観光客増加を図る。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
”「おくのほそ道」赤倉キャンプ場”は、キャンプとあわせて、最上小国川でのアユ釣りなどの最上小国川流域ならではの自然を体験することができるとともに、アユをはじめとする最上小国川流域の生態系を学ぶ学習会等のイベントを開催するなど「地域固有の自然、文化等に関する体験の機会を提供する活動」を行う施設として、R6年度に供用を開始する予定であり、新たな観光客の来訪が期待されている。			
＜該当する広域連携プロジェクト＞			
【「四季の魅力あふれる東北」を体験できる滞在型交流型観光圏の形成】 観光産業の振興のため、観光地相互の連携により、農林業・漁業体験等のグリーンツーリズムやエコツーリズム、 <u>国立公園等での自然体験、豊富な温泉資源を活用した湯治、地場産食材を活用した地元名物料理体験、雪を活かした地吹雪体験・かまくら体験等、多種多様な体験型観光メニュー等を組み合わせた観光圏の形成をより一層推進する。</u> また、平泉の世界遺産登録5周年を契機とした新たなツアーの創出を検討し、あわせて津波の恐ろしさを学ぶとともに地域の復興の歩みを実感してもらうような周遊・滞在型のツアー等、被災地における復興支援と連動したツアーや震災や防災についての学習・研修を目的とする旅行を推進する。 さらに、台湾、香港、中国(上海・広州)、ASEAN(東南アジア諸国連合)、欧米、オーストラリアの旅行者をターゲットに、首都圏並びに平成28年3月26日に開業した北海道新幹線の道南地域、東北の空港への直行便等を活用した旅行者を対象とした、広域観光周遊ルート「日本の奥の院・東北探訪ルート」形成促進事業を推進する。			

(確認様式2-1)

重点地区に関する事項

最上小国川流水型ダム	所在地	山形県最上町	重点地区の面積	2.7ha
------------	-----	--------	---------	-------

- 拠点施設:「おくのほそ道」赤倉キャンプ場(仮称)
- 重点地区:最上小国川流水型ダム

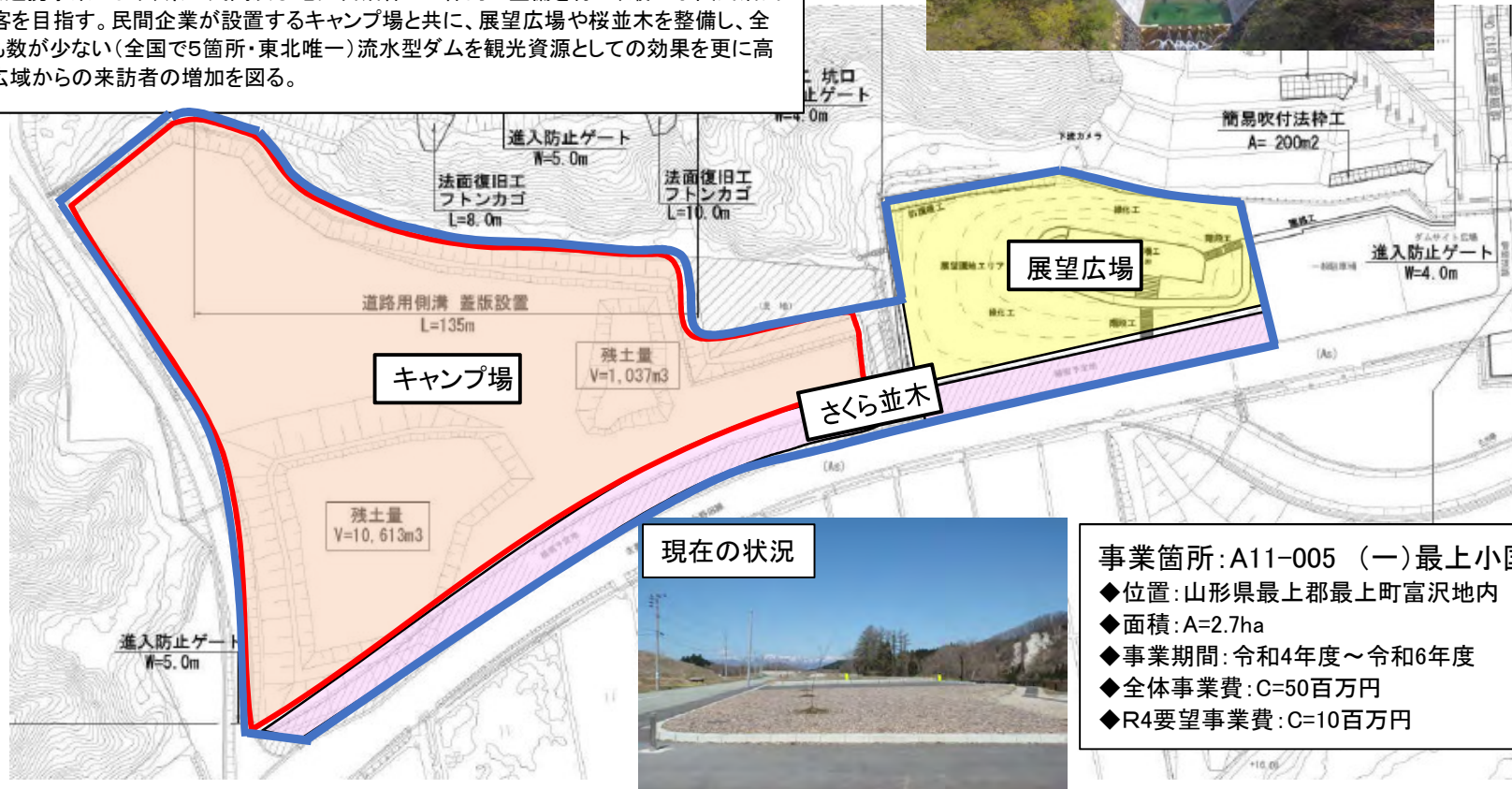
【最上小国川 河川環境整備】

自然豊かな郷土への愛着を育む「最上川さくら回廊」の令和元年度の植樹式会場として、最上小国川流水型ダムのダムサイトが選定された。このダムは令和2年3月竣工で、同年8月の竣工式においてさくらの植樹を行った。

広域連携事業により、県が民間及び地元自治体と一体的に整備を行い、最上小国川沿川の集客を目指す。民間企業が設置するキャンプ場と共に、展望広場や桜並木を整備し、全国でも数が少ない(全国で5箇所・東北唯一)流水型ダムを観光資源としての効果を更に高めて広域からの来訪者の増加を図る。



最上小国川流水型ダム



現在の状況

- 事業箇所:A11-005 (一)最上小国川
- ◆位置:山形県最上郡最上町富沢地内
 - ◆面積:A=2.7ha
 - ◆事業期間:令和4年度~令和6年度
 - ◆全体事業費:C=50百万円
 - ◆R4要望事業費:C=10百万円

(確認様式3)

公園（都市公園事業）

ふりがな 公園名		ゆみはりだいらこうえん 弓張平公園		当初の都市計画決定	S50年 8月18日	事業期間	R4～R8	事業種別（注2）	
				直近の都市計画変更	H11年 3月26日	(完成予定年度)	R8	①国家的記念事業関連公園	
公園種別（注1）	レクリエーション都市			当初の事業認可取得時期	S50年10月13日	全体事業費	100百万円	②観光振興の拠点となる都市公園	
計画面積	138.1ha	供用済み面積	114.4ha	直近の事業認可取得時期	H11年 6月 9日	※単独費を含む総事業費	百万円	③大規模公園 ○	
公園の概要(目的、計画概要)								④防災公園	
弓張平公園は、テニスコートや陸上競技場等スポーツ施設、及びオートキャンプ場や植物園等多様な施設を有し、親子レクリエーションやスポーツ団体の合宿等で賑わっている。基幹事業により、オートキャンプ場や休養施設、体育館の改修を行う。								⑤自然再生緑地	
								⑥その他	
地域の抱える課題に対する当該公園の役割、機能						交付期間内に発現する事業効果			
宿泊機能や各種スポーツ施設を有しており、温泉や自然環境を活用したアウトドアと相まって新潟山形福島交流圏を含む県内外の交流人口増加のための役割を担う。						施設更新による観光客及び施設利用者の増加。			
用地取得計画(㎡)						施設整備計画(公園内で交付対象事業及び提案事業で実施するもの)(注3)			
	地域活性化計画以前取得済み面積	地域活性化計画内取得面積	残面積	合計	備考	施設名	交付対象事業	規模、構造、施設概要等	
買収				0		オートキャンプ場	公園	キャンプ場、サテライトハウス等	
(内買い戻し)				0		休養施設	公園	四阿等設置	
国公有地				0		運動施設	公園	体育館改築	
その他				0		便益施設	公園	トイレの洋式化	
合計	0	0	0	0					
計画期間中の事業費									
費 目		地域活性化計画以前	地域活性化計画事業費	残事業費	合計				
交付金事業費 (百万円)	用地費				0				
	施設費		100		100				
	計	0	100	0	100				
単独事業費 (百万円)	用地費				0				
	施設費				0				
	計	0	0	0	0				
合計 (百万円)	用地費	0	0	0	0				
	施設費	0	100	0	100				
	計	0	100	0	100				
供用予定面積									

注1)地区の欄は、都市公園の種別(広域公園、総合公園、運動公園等)

注2)事業種別の欄は、都市公園等統合補助事業制度要綱に定める国家的事業(オリンピック、国際博覧会、国民体育大会、全国都市緑化フェア等)関連公園、歴史的・自然的・文化的資源又は景観法に基づく景観重要建造物等を活用する観光振興の拠点となる都市公園、大規模公園(広域公園、レクリエーション都市)、防災公園(防災拠点、避難地、緩衝緑地及び防災緑地)、環境の保全・創出を積極的に図るべき地域において環境の向上を図る自然再生緑地のうち、該当する事業の右欄に○を記入。

注3)施設整備計画の欄は、当該都市公園内で実施する施設整備の概要を記載する。交付対象事業の欄には、地域自立・活性化交付金の交付対象事業名又は提案事業を記載する。

注4)地区交付事業の設計図(平面図)は、地域自立・活性化交付金で整備する都市公園全てについて添付すること。また設定した地区及び地区内の整備箇所(交付金、単独問わず)については、整備方針概要図の中に明示すること。

(確認様式3)

公園（都市公園事業）

ふりがな 公園名		やまがたけんそうごうらんどこうえん 山形県総合運動公園		当初の都市計画決定	S58年 1月17日	事業期間	R4～R8	事業種別（注2）	
				直近の都市計画変更	年 月 日	(完成予定年度)	R8	①国家的記念事業関連公園	
公園種別（注1）	広域公園			当初の事業認可取得時期	S58年 2月15日	全体事業費	293百万円	②観光振興の拠点となる都市公園	
計画面積	50.6ha	供用済み面積	50.3ha	直近の事業認可取得時期	H 6年 3月16日	※単独費を含む総事業費	百万円	③大規模公園 ○	
公園の概要(目的、計画概要)									
山形県総合運動公園は、平成4年開催の「べにばな国体」の会場として整備され、第1種公認及びプロスポーツホームスタジアムとしての陸上競技場及び総合体育館を有する。基幹事業として、陸上競技場、総合体育館及び屋外プールの改修を行う。									
地域の抱える課題に対する当該公園の役割、機能					交付期間内に発現する事業効果				
プロスポーツや各種大会、イベント等による集客機能を有しており、拠点施設と相まって、新潟山形福島交流圏を含む県内外の交流人口増加のための役割を担う。					施設更新による観光客及び施設利用者の増加。				
用地取得計画(㎡)						施設整備計画(公園内で交付対象事業及び提案事業で実施するもの)(注3)			
	地域活性化計画以前取得済み面積	地域活性化計画内取得面積	残面積	合計	備考	施設名	交付対象事業	規模、構造、施設概要等	
買収				0		総合体育館運動施設	公園	体育館屋根改築	
(内買い戻し)				0		陸上競技場運動施設	公園	スタンド椅子改築	
公有地				0		屋外プール運動施設	公園	電気設備、プールサイド改修	
その他				0		便益施設	公園	トイレの洋式化	
合計	0	0	0	0					
計画期間中の事業費									
費 目		地域活性化計画以前	地域活性化計画事業費	残事業費	合計				
交付金事業費 (百万円)	用地費				0				
	施設費		293		293				
	計	0	293	0	293				
単独事業費 (百万円)	用地費				0				
	施設費				0				
	計	0	0	0	0				
合計 (百万円)	用地費	0	0	0	0				
	施設費	0	293	0	293				
	計	0	293	0	293				
供用予定面積									

注1)地区の欄は、都市公園の種別(広域公園、総合公園、運動公園等)

注2)事業種別の欄は、都市公園等統合補助事業制度要綱に定める国家的事業(オリンピック、国際博覧会、国民体育大会、全国都市緑化フェア等)関連公園、歴史的・自然的・文化的資源又は景観法に基づく景観重要建造物等を活用する観光振興の拠点となる都市公園、大規模公園(広域公園、レクリエーション都市)、防災公園(防災拠点、避難地、緩衝緑地及び防災緑地)、環境の保全・創出を積極的に図るべき地域において環境の向上を図る自然再生緑地のうち、該当する事業の右欄に○を記入。

注3)施設整備計画の欄は、当該都市公園内で実施する施設整備の概要を記載する。交付対象事業の欄には、地域自立・活性化交付金の交付対象事業名又は提案事業を記載する。

注4)地区交付事業の設計図(平面図)は、地域自立・活性化交付金で整備する都市公園全てについて添付すること。また設定した地区及び地区内の整備箇所(交付金、単独問わず)については、整備方針概要図の中に明示すること。

(確認様式3)

公園（都市公園事業）

ふりがな 公園名		なかやまこうえん 中山公園		当初の都市計画決定	S49年 3月29日	事業期間	R4～R8	事業種別（注2）	
				直近の都市計画変更	年 月 日	（完成予定年度）	R8	①国家的記念事業関連公園	
公園種別（注1）	運動公園			当初の事業認可取得時期	S49年 5月13日	全体事業費	410百万円	②観光振興の拠点となる都市公園	
計画面積	17.4ha	供用済み面積	17.4ha	直近の事業認可取得時期	S58年 2月21日	※単独費を含む総事業費	百万円	③大規模公園	
公園の概要（目的、計画概要）								④防災公園	
中山公園は、県野球場2を中心とした多目的運動施設であり、県内はもとより全国規模の大会やプロ野球の試合が開催されている。基幹事業により県野球場の改修、照明設備の更新を行う。								⑤自然再生緑地	
								⑥その他	
地域の抱える課題に対する当該公園の役割、機能								交付期間内に発現する事業効果	
地域の憩いの場としてのみならず、プロスポーツの受け入れ可能な施設を有し、新潟山形福島交流圏を含む県内外の交流人口増加のため役割を担う。								施設更新による観光客及び施設利用者の増加。	
用地取得計画（㎡）						施設整備計画（公園内で交付対象事業及び提案事業で実施するもの）（注3）			
	地域活性化計画以前取得済み面積	地域活性化計画内取得面積	残面積	合計	備考	施設名	交付対象事業	規模、構造、施設概要等	
買収				0		運動施設	公園	野球場躯体改修	
（内買い戻し）				0		運動施設	公園	照明設備更新	
国公有地				0		園路広場	公園	園路改築	
その他				0		便益施設	公園	トイレの洋式化	
合計	0	0	0	0		運動施設	公園	空調設備設置	
計画期間中の事業費						便益施設	公園	駐車場整備	
費 目		地域活性化計画以前	地域活性化計画事業費	残事業費	合計				
交付金事業費 （百万円）	用地費				0				
	施設費		410		410				
	計	0	410	0	410				
単独事業費 （百万円）	用地費				0				
	施設費				0				
	計	0	0	0	0				
合計 （百万円）	用地費	0	0	0	0				
	施設費	0	410	0	410				
	計	0	410	0	410				
供用予定面積									

注1) 地区の欄は、都市公園の種別（広域公園、総合公園、運動公園等）

注2) 事業種別の欄は、都市公園等統合補助事業制度要綱に定める国家的事業（オリンピック、国際博覧会、国民体育大会、全国都市緑化フェア等）関連公園、歴史的・自然的・文化的資源又は景観法に基づく景観重要建造物等を活用する観光振興の拠点となる都市公園、大規模公園（広域公園、レクリエーション都市）、防災公園（防災拠点、避難地、緩衝緑地及び防災緑地）、環境の保全・創出を積極的に図るべき地域において環境の向上を図る自然再生緑地のうち、該当する事業の右欄に○を記入。

注3) 施設整備計画の欄は、当該都市公園内で実施する施設整備の概要を記載する。交付対象事業の欄には、地域自立・活性化交付金の交付対象事業名又は提案事業を記載する。

注4) 地区交付事業の設計図（平面図）は、地域自立・活性化交付金で整備する都市公園全てについて添付すること。また設定した地区及び地区内の整備箇所（交付金、単独問わず）については、整備方針概要図の中に明示すること。

(確認様式3)

河川

事業名	河川		水系名	最上川水系		河川名	最上小国川	
治水安全度	現況	1/2		流量		現況流下能力	90 (m ³ /s)	
	将来	1/50				計画高水流量	340 (m ³ /s)	
流域面積	401.2 km ²			市街化率		0 %		
過去10年間の主な 出水状況・浸水被害	年月日	浸水戸数	うち床上浸水戸数		面積(ha)	気象原因	内水・溢水の別	
	H18.12.26~27	8	2		1.1	大雨	溢水	
	H21.10.8	3	0		-	大雨	内水	
	H27.9.10~11	26	18		5	台風	溢水	
事業費	総事業費		50 (百万円)					
	交付期間内事業費		50 (百万円)					
交付期間内における 整備目標及び方針	<p>重点地区のなかにある最上小国川流水型ダムにおいて、展望広場と遊歩道等を整備するとともに桜並木を整備し、全国でも数が少ない(全国で5箇所・東北唯一)流水型ダムを観光資源としての効果を更に高め広域からの来訪者を増やすきっかけとする。</p> <p>更に、展望広場等へ設置するダムの概要と赤倉温泉の観光情報などを一体化させた説明板等を設置し、ダムを目的とした来訪者を赤倉温泉や周辺の観光施設へ誘導し、最上小国川沿川の観光振興に寄与する。</p>							
当該箇所上下流 の改修の状況								

※市街化率とは、流域内における市街化区域及び市街化調整区域内の開発区域の占める割合。

※「計画年次における整備目標及び方針」欄には、交付期間内事業期間における、具体の流下能力の障害となっている箇所の改修方針、区間延長、現況安全度等について記入。

弓張平公園(都市公園事業)概要図

【拠点施設整備との関連性】

関連基盤施設としてのオートキャンプ場や体育館等運動施設の改築による利用環境の向上は、拠点施設である月山湖カヌースプリント競技場の整備と相まって、双方の施設の複合的な利用の頻度が増加するとともに、利用者の拡大に寄与する。

至 酒田市・秋田県



拠点施設関連基盤施設整備事業<基幹事業A11-001>
事業内容:オートキャンプ場施設改築、休養施設設置
 体育館改築、トイレ改築等一式
事業期間:令和4~8年度
事業費:100,000千円



<拠点施設整備事業>
カヌー競技場多目的施設の整備

凡 例

- ★ 拠点施設関連基盤施設
- 重点地区
- 拠点施設

至 宮城・福島県

出典:国土地理院HP

山形県総合運動公園(都市公園事業)概要図

【拠点施設整備との関連性】

関連基盤施設としての陸上競技場観客席や体育館屋根の改築、屋外プールの電気設備改修等による利用環境の向上は、拠点施設である天童温泉の客室のユニバーサルデザイン化改修と相まって、各種観光イベントやプロスポーツ観戦等による双方の施設の複合的な利用により、県内外の利用者の拡大に寄与する。



最上川ふるさと総合公園(都市公園事業)概要図

【拠点施設整備との関連性】

関連基盤施設としての照明設備の更新や休養施設等の更新による利用環境の向上は、拠点施設であるクアパーク(民活エリア)や最上川沿いのオープンデッキ整備と相まって、「音と光のファンタジアをはじめとした大型イベント等による双方の施設の複合的な利用により、県内外の利用者の拡大に寄与する。

拠点施設関連基盤施設整備事業<基幹事業A11-003>
事業内容:照明設備更新、休養施設改築、管理施設改築、運動施設改築等一式
事業期間:令和4~8年度
事業費:226,000千円

<拠点施設整備事業>
オープンデッキ整備
(オープンカフェ)

公園内照明設

公園内イルミネーション

さくらんぼの祭典

最上川ふるさと総合公園

クアパーク(民活エリア)

民活エリア

オープンデッキ予定地から望む田園景観

凡例

- ★ 拠点施設関連基盤施設
- 重点地区
- 拠点施設

出典:国土地理院HP



最上小国川(河川事業) 事業実施箇所図

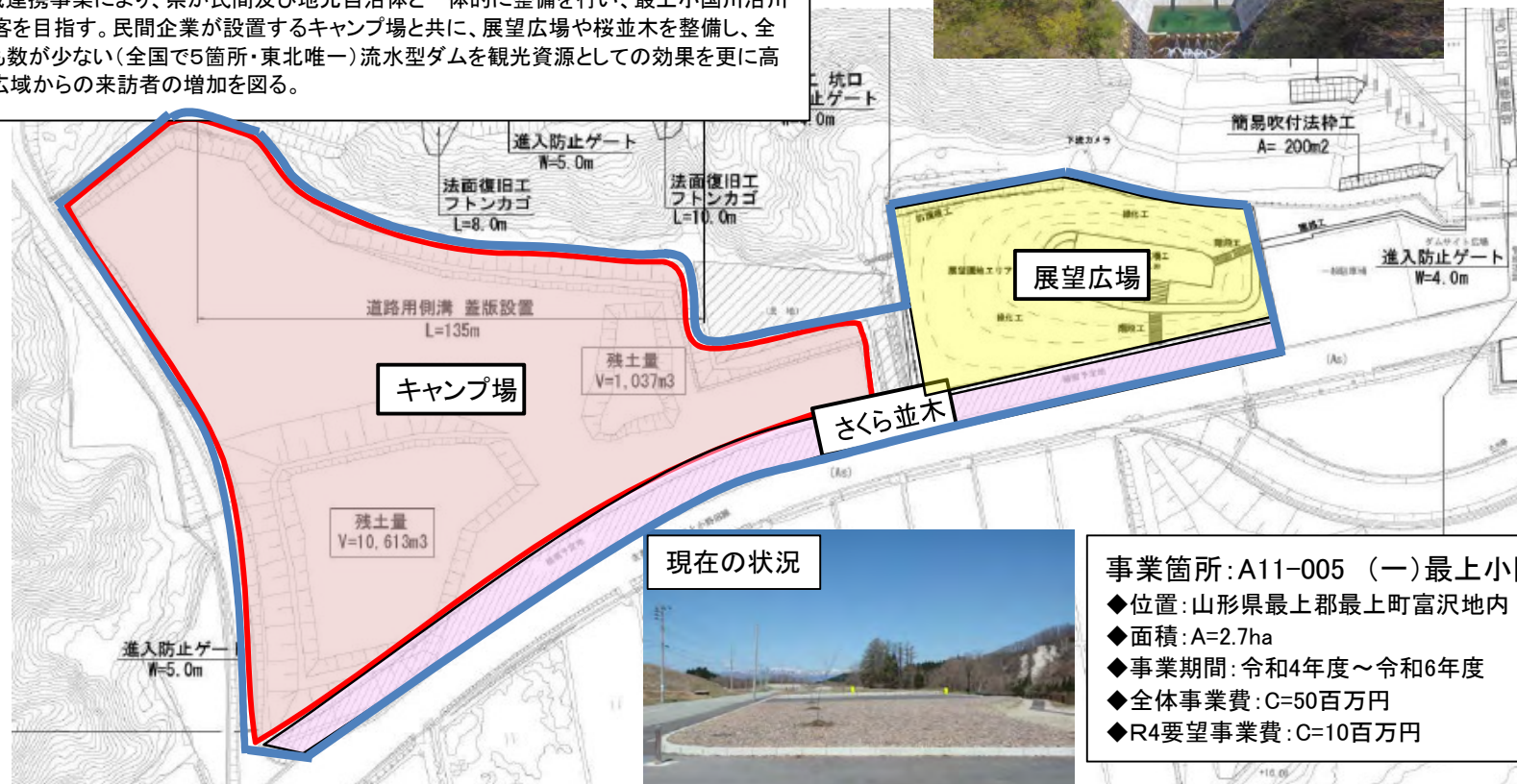
- 拠点施設:「おくのほそ道」赤倉キャンプ場(仮称)
- 重点地区:最上小国川流水型ダム

【最上小国川 河川環境整備】

自然豊かな郷土への愛着を育む「最上川さくら回廊」の令和元年度の植樹式会場として、最上小国川流水型ダムのダムサイトが選定された。このダムは令和2年3月竣工で、同年8月の竣工式においてさくらの植樹を行った。

広域連携事業により、県が民間及び地元自治体と一体的に整備を行い、最上小国川沿川の集客を目指す。民間企業が設置するキャンプ場と共に、展望広場や桜並木を整備し、全国でも数が少ない(全国で5箇所・東北唯一)流水型ダムを観光資源としての効果を更に高めて広域からの来訪者の増加を図る。

最上小国川流水型ダム



事業箇所:A11-005 (一)最上小国川

◆位置:山形県最上郡最上町富沢地内

◆面積:A=2.7ha

◆事業期間:令和4年度~令和6年度

◆全体事業費:C=50百万円

◆R4要望事業費:C=10百万円

「広域的地域活性化のための基盤整備に関する法律第5条第6項」の規定に基づく
計画に対する市町村意見照会の結果一覧

	市町村名	河川事業	公園事業	結果
村山	山形市	該当事業なし		
	上山市	該当事業なし		
	天童市		○	異議なし
	山辺町	該当事業なし		
	中山町		○	異議なし
西村山	寒河江市		○	異議なし
	河北町	該当事業なし		
	西川町		○	異議なし
	朝日町	該当事業なし		
北村山	大江町	該当事業なし		
	村山市	該当事業なし		
	東根市	該当事業なし		
	尾花沢市	該当事業なし		
最上	大石田町	該当事業なし		
	新庄市	該当事業なし		
	金山町	該当事業なし		
	最上町	○		異議なし
	舟形町	該当事業なし		
	真室川町	該当事業なし		
	大蔵村	該当事業なし		
置賜	鮭川村	該当事業なし		
	戸沢村	該当事業なし		
	米沢市	該当事業なし		
	南陽市	該当事業なし		
西置賜	高畠町	該当事業なし		
	川西町	該当事業なし		
	長井市	該当事業なし		
	小国町	該当事業なし		
庄内	白鷹町	該当事業なし		
	飯豊町	該当事業なし		
	鶴岡市	該当事業なし		
	酒田市	該当事業なし		
	三川町	該当事業なし		
庄内	庄内町	該当事業なし		
	遊佐町	該当事業なし		